

2016
8
No. 152

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

地域の人たちとの交流を深めた
ふらっとユニバーニ「広場」
2016

■今年も盛りあがりしました
「デイサービス夏祭り」

■「ニュース&トピックス」
「厚岸小学校福祉学習」ほか

■「ボランティア通信」
「なかよし」
「大規模災害発生後に設置される
災害ボランティアセンター」ほか

昨年引き続き、アツラレクラブ
のお母さんと子供さんが心と国に
来国してくれました。沢山の元気
をいただきました。八所を極からは自然
と笑顔が戻れていました。



SWEET☆BOXによるダンス披露
はたくさんの観客に囲まれて
行われました



地域の人たちの 交流を深めた ふらっとニコニコ広場2016

去る7月24日(日)厚岸町社会福祉協議会主催の「ふらっとニコニコ広場2016」が社会福祉センター駐車場等で開催されました。この広場は、障害者もつ人持たない人、高齢者や子どもなど地域の中で共に生きる社会にという「ノーマライゼーションの基本理念」の普及・定着を目的としています。

5回目を迎えた今年は、新しい取り組みを何点か取り入れ開催しましたが、エア遊具の「ふわふわドーム」では、ジャンプしたり回ったりと楽しそうにはしゃぐ子供たちは、何度も並んで楽しんでいました。NPO法人桜が丘ひびくクラブによるレクリエーションでは、ダーツや輪投げ、さらに見聞きしたことの少ないテールブルガラッキーに真剣な眼差しで取り組んでいました。そして「厚岸翔洋高校ボラスティア部」のペンシルパールの実演・配布は、ブラス開店直後から絶え間なく訪れる子どもに、かわいらしいお花や剣をプレゼント。また、おりがみコーナーでは、今回お手玉コーナーを設け、初めて触るお手玉に苦戦した様子の子どもたちや、懐かしそうに子どもたちと交流する高齢者が印象的でした。帰り際にお土産のお手玉をもらい子どもたちは嬉しそうにしています。



おりがみ
コーナーの
くまもん

きのこ生産協同組合提供の新鮮なしいたけを配布し、たくさんの方が列を作りました。イベント企画では、昨年に引き続き参加した『鼓魂絆纏(ここんばんてん)』は新メンバーを迎えパワーアップし、豪快で力強い演奏で観客を魅了。午後からは初参加の『SWEET☆BOX(スイート・ボックス)』によるダンス披露は、テンポの良い音楽に観客は引き込まれ、ステージと観客が一体となり、大盛況のうちに閉会を迎えました。

ここからは、写真で当日を振り返りながら紹介します。



手作り品がかわいらしかった
のんき村



コーヒーや蒸しパンなど、
食べ物が嬉しい工房るうぷ



小物など手作りの品が
たくさんのふらっと



意外と大きなふわふわドーム



いっぱいジャンプ!



鼓魂絆纏の力強い演奏



ヨーヨーつれるかな?
縁日コーナー



ふまねっと体験



翔洋高校ボランティア部のみなさん
かわいい風船のお花



あつけし極みるく 65 の無料配布



お手玉上手にできるかな



福祉用具の展示・体験

地域福祉事業資金造成

週末は楽しく飲みましょう! チャリティービアパーティー

日時 9月3日(土) 午後6時30分～

場所 社会福祉センター 大ホール(梅香2-1)

前売り券 1,500円

※前売り券は、8月10日より社協
事務所で取り扱っています。

ビール
ソフトドリンク
オードブルほか

問い合わせ

厚岸町社会福祉協議会事務局地域課まで

電話: 0154-52-7752

チャリティー益金は…
チャリティーパーティーは、地
域福祉事業の資金造成を目的に
企画しており、当日のチャリティー
益金は、すべて地域の福祉活動
に還元します。



今年も盛りあがりました

デイサービス夏祭り



7月11日から15日までの5日間、在宅老人デイサービスセンターにて、一年で一番の大きな行事「夏祭り」を開催しました。

今年は、すべての利用者が、期間中どこかの一日に参加し楽しんでいただけたので、スタッフにとっても嬉しい限りとなりました。

綿あめ、ホットドック、フランクフルト、クレープ、チョコバナナとたくさん種類のの中から、好きな物を選んで食べて、紐くじ、コイン落としのゲームで、腕を振るっていただきました。

ひと通り楽しんだ後は、全員でガラポンくじ、じゃんけん大会で大いに盛り上がり、「当たった景品は孫にあげるんだ」と喜びながら話される姿が印象的でした。

今年も「うみえもん」が遊びに来て、デイサービスからのマスコット「たまちゃん」とのコラボ撮影が大人気でした。

今回のデイサービス夏祭りの楽しげ様子を写真でご覧ください。

[右]ねこのマスコット「たまちゃん」がカンペを持って。夏祭りがはじまるよ～。



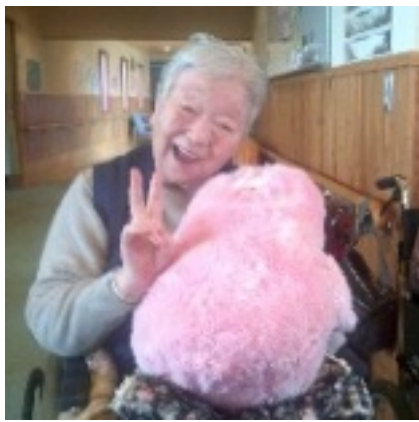
[左]祭りといったら綿あめ。大きなお口でパクリ。



[左]全員参加のガラポンくじは、一番の盛り上がり。

[上]職員手作りの屋台は、本格的に種類も盛りだくさん。何を食べるか迷っちゃう。

カメラを向けると皆さんニコリ笑顔！笑顔がいっぱいの五日間でした



ボランティアスタッフも活躍しました

デイサービス夏祭りでは、イベント運営にあたってボランティアスタッフが活躍しました。期間中、一日2～6名程度のボランティアスタッフが、出店で綿あめを作ったり、ゲーム進行の場面だと、会場を盛り上げてくれました。

これからも、地域に密着したデイサービスセンターとして、ボランティアの協力をいただきながら、皆さんと一緒に活動していきたいと思っております。

このたび協力いただいたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



[上]ある一日のボランティアスタッフ。

[下]ふれあい会食会で、両手と身体をいっぱい使って、介護予防レクを行う参加者



みんなで楽しく昼食会 ふれあい会食会

社協では、町内在住で概ね65歳以上の高齢者を対象に、毎月1回「ふれあい会食会」を開催しています。

6月は、第一興商によるカラオケ機器を使った介護予防レクを行いました。画面に合わせて身体を動かしたり、懐かしい歌を振り付きで歌ったりと、頭と身体を一生懸命動かし、いつもとは違うレクに汗を流し、その後、もうひとつのお楽しみの昼食では、尾幌自治会婦人部の皆さんが、心をこめて作った昼食を美味しくいただきました。

月に一度の会食会を楽しみにしている参加者も多く、この機会に登録しませんか。詳しくは社会福祉協議会52-7752までお電話ください。

[下]介護職の役割や専門性、倫理について学ぶ受講者



介護人材の育成がスタート 介護職員初任者研修

介護の入門的資格となる「介護職員初任者研修」が、厚岸町社協の主催で7月4日より開講されています。町内から各分野の専門職を講師に、11月9日までの長丁場の研修となります。

講義は、基本的に月・水・金曜の夜6時からですが、受講者の皆さんは、それぞれの仕事や学業を終え、お疲れの中を集まり、熱心に取り組んでいます。

開講直前に数名のキャンセルがあり、少なめの受講者での開催ですが、各自が「将来の就職のため」「今の仕事のスキルアップ」「家族の介護」等の明確な目標を持っており、実りある研修となることでしょう。厚岸町の優秀な介護の人材となっていただけよう応援しています。



[上]難しいテーマに熱心に聞き入る19名の6年生

6年生が福祉の仕事を学ぶ 厚岸小学校福祉学習

厚岸小学校では、6年生の総合学習のテーマとして「福祉にかかわる人々」に取り組んでいます。その一環として社会福祉協議会に「厚岸町の福祉の仕事」というテーマで授業を受けたいとの依頼がありましたので、7月7日に厚岸小学校6年生の教室に社協職員がお邪魔しました。

教室では生徒19名が熱心に1時間30分の授業に耳を傾け、終了後には、鋭い質問も聞かれました。「将来は福祉や医療の仕事に就きたい」「福祉の仕事に興味を持ちました」等、うれしい声が聞かれました。

このように社協では、学校をはじめ各団体に対し、福祉や介護の教育活動を行いますので、ぜひお問い合わせ活用ください。

[ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]北海道護国神社を参拝した遺族会員

[下]町老連会員演芸交流会での厚岸町文化協会有志によるゲストアトラクション



[下]踊りの合間をぬってパシャリ!! と記念撮影



戦争のないよう平和を祈る 遺族大会・慰霊大祭

厚岸町遺族会は、過去の戦争で尊い命を捧げられた戦没者の遺族などで組織され、会員の多くが高齢でありながら、町内外で行われる遺族大会、追悼式等に参加しています。

例年6月4日に旭川市で行われる全道戦没者遺族大会に会員6名が参加し、翌日には戦没者の御霊が奉られている北海道護国神社を参拝しました。

参加者は、改めて戦争の悲惨さを後世に伝えていく必要性を感じ、二度とあのような戦争が起きないよう強く平和の祈りを捧げました。戦後71年を経て、遺族会員の多くが高齢を迎える中、健康に留意し、今後とも町内外の活動を行って参ります。

日頃の練習の成果を披露 町老連会員演芸交流会

老人クラブ連合会では、毎年、会員同士の交流を目的として、個々で活動している芸能などを披露する「会員演芸交流会」を開催しています。今年は6月11日に130名の会員が参加し、カラオケや舞踊の披露など、日頃の練習の成果を存分に披露し盛会のまま終了しました。

今年のゲストアトラクションは、厚岸町文化協会有志による三味線演奏と民謡披露があり、演奏と歌に合わせて、身体を揺らしたり手拍子をしたりと、ステージと会場が一体となって大いに盛り上がりました。

昼食後に行われた“お楽しみ抽選会”では、手にした景品に笑顔がこぼれ、参加した会員にとって楽しい一日となりました。

天候に恵まれて 港まつりパレード観覧

昨年同様に、7月1日に厚岸音頭市中大パレード観覧に、入所者10数名と外出してきました。当日は、晴天に恵まれ、入所者も日に焼けないよう帽子をかぶり、飲み物を用意して準備万端。昨年は、真龍側に陣取っていましたが、待てど暮らせど、一行が現れなかったこともあり、今年は丸一タバタさんの協力を得て特等席を確保できました。

演者が通り掛かると、拍手喝采で声援を送っていました。隊列には施設職員も参加しており、職員を見つけると「がんばれ～」と声援。帰りの車内では「天気良くてよかった」「もうちょっといたかったなあ」など、話が盛り上がり、楽しい外出となりました。

ボランティア活動助成金のお知らせ

公益財団法人大和証券福祉財団では、ボランティア活動を行っている団体への助成を実施しています。

この助成対象は、活動している会員数が5名以上で、営利を

目的としない団体の活動費として、30万円を限度に助成されます。

活動を考えている団体は、ぜひご利用ください。



■申請方法

ホームページからのダウンロードまたは社協窓口から申請書入手し、必要事項を記入し送付願います

■申込受付期日

平成28年9月15日(木)

■助成対象経費

謝金、旅費交通費、備品、消耗品費、通信費、会場費など

■助成対象期間

平成29年1月1日(日)～12月31日(日)までの活動に対して助成されます

■その他

助成を受けた団体は平成30年1月31日(水)までに、活動助成報告書及び助成金使途内訳表、領収証を提出願います

■送付先

〒104-0031
東京都中央区京橋1-2-1
公益財団法人大和証券福祉財団事務局

■問合せ先

TEL: 03-5555-4640
FAX: 03-5202-2014

厚岸町共同募金委員会からのお知らせ

寄せられた義援金を送金しました

厚岸町共同募金委員会では、4月14日、16日に熊本県・大分県で発生した地震で、人的被害や家屋の倒壊等で被災された方々を支援するため、社協窓口に募金箱を設置し、関係団体、町民のみなさまにご協力をお願いしました。

特に町内の自治会と老人クラブでは、組織的に取組が行われ、7月1日までに寄せられた義援金は、総額317,624円となり、北海道共同募金会に全額を送金いたしました。

義援金は、北海道共同募金会を通して、熊本県、大分県共同募金会等で構成される義援金配分委員会での決定により、全額が被災者へ見舞金、生活再建資金として配分されます。

なお、義援金受付期間が、大分県は今年9月30日まで、熊本県は来年3月31日まで延長になりました。

当会では、引き続き義援金を募集していますので、みなさまのご協力をお願いいたします。



[上] 7月11日に義援金の引き渡し式が行われました

■義援金額

総額…317,624円
熊本県に257,173円
大分県に60,451円

■義援金の内訳

・厚岸町自治会連合会
123,000円

・厚岸町老人クラブ連合会
187,707円
・募金箱
6,917円

義援金への心あたたまるご協力、ありがとうございました。

なかよし

厚岸町ボランティアセンター
088-1115 厚岸町梅香2丁目1番地
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044

大規模災害発生後に設置される 災害ボランティアセンター

組織・業務編

皆さんは大規模災害が発生した場合、また、被災した場合、どう支援を行う（受ける）のか考えたことはありますか？

大規模災害が発生し、ボランティア活動の可能性が考えられる場合、社協は厚岸町（町災害対策本部）と協議しながら災害

ボランティアセンターを設置します。

前は災害ボランティアセンターの設置目的等を紹介しましたが、今回は、センター運営にあたっての組織・業務内容等について、それぞれの役割と活動内容を紹介します。



組織・業務内容は…

■センター長

社協事務局長が任命され、センター全体を統括し、指揮・監督を行います。

■副センター長

センター長を補佐し、不在の場合はその職務を代行します。

また、センター支援関係団体等との連絡調整、各班の調整、報道機関等への情報提供を行います。

■総務班

センター全体の取りまとめ、会計・経理、町災害対策本部や道社協などとの連絡調整、問い合わせの対応、活動集計、各種情報収集・情報発信業務等を行います。

■受付班

被災地に来てくれたボランティアと最初に接する受け入れ窓口となり、総合案内、受付登録に係る事務等を行います。

■ニーズ班

被災者から必要とする活動内容を聴き取り、必要に応じて現地調査を実施し、マッチング班に引き継ぎを行います。

■マッチング班

被災者からの様々な支援ニーズとボランティア活動希望の結びつけ、また、各地から送られてくる資材の管理を行います。

■その他

①災害ボランティアセンターは発生日に設置・運営されません。

設置検討、厚岸町との協議、事務所準備等を行うため、運営までおよそ3日程かかります。

②余震の影響で家屋の倒壊等の危険がある場合、ボランティアの受け入れが遅くなります。

ボランティア活動中の二次災



[上] 受付班のようす。ボランティア受付、保険加入手続き等を行います

害を防ぐため、安全性等を確認し、協議するためです。

③ボランティアセンターは24時間対応していません。

設置検討で運営時間、ボランティアの活動時間が決定します。

ホームページ、防災無線等で確認が必要です。

今回はボランティア活動を依頼する際の注意事項について紹介する予定です。



編集後記

■夏祭りが終わると一年の折り返しになったとしみじみと感じます。厚岸の短い夏をゆっくり楽しみたいものですね。今年の夏祭りも利用者様のたくさんの笑顔から、スタッフ一同、元気をいただきました。来年も楽しいイベントができるよう頑張っていきたいです（小笠原）

■初めて担当になったふらっとニコニコ広場が無事に終了しました。今日を迎えるまでに沢山の失敗がありましたが、その度に多くの仲間に助けられ、1人じゃないと心強く感じました。準備は大変でしたが、皆で作上げた広場が、多くの人の笑顔に囲まれ無事に終了できた事が本当に嬉しく思います。（柏木）

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2016. 8/No. 152

【編集】 広報委員会(以下、委員)
 奈尾 和哉 五十嵐愉美
 米内山紘輝 大澤 雅己
 杉本 裕樹 井口 新一
 柏木由起子 小笠原晶子

社会福祉法人 厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
 厚岸町社会福祉センター内
 TEL 0153-52-7752
 FAX 0153-52-6044
 mail info@akkeshishakyo.or.jp

お知らせ情報

TEL 52-7752 FAX 52-6044

お気軽に相談を 無料法律相談

ひとりで解決が難しい事案に、法律専門家の弁護士が無料で相談に応じます。

■日時／9月27日(火)13:30～17:00(相談時間はひとり30分が目安で、予約状況により早まる場合があります。)

■場所／社会福祉センター

■担当／釧路弁護士会所属：鍛冶孝亮弁護士（弁護士法人荒井・久保田総合法律事務所）

■その他／事前予約必要

帰郷・旅行などの際に 車いす・福祉用具貸出

帰郷や旅行などが多くなる季節になりました。「一時的にちょっと借りたい」といった場合に車いすをはじめ福祉用具がありますので相談ください。

■貸出場所／社会福祉センター

■費用／無料

■その他／事前に問い合わせがあればスムーズに貸し出しできます。

■貸出備品／車いす、入浴用介護用品ほか

寄付・寄贈ありがとうございます（5月～7月）

[敬称略]

【寄付金】▼特別寄付(福祉基金)／佐藤武志 15,340円、鼓魂絆纏 16,694円、(匿名)1,000円

【寄贈品】▼法人本部／(有)厚岸マイカーセンター～古切手 ▼心和園／鈴木伸一～車いす、佐藤アヤ子～オムツ・パット、田嶋昭三～紙パンツ、光暁寺仏教婦人法話会～ティッシュペーパー、東岸寺婦人部～トイレットペーパー・古布、厚岸消防会～トイレットペーパー、厚岸町老人クラブ連合会女性部～古布、アップルクラブ～古布 ▼デイサービスセンター／日向七海～日用品、(匿名)～車いす、ティッシュペーパー

社協の出来事（デイサービスにて）

翔洋高校の企業実習

6月15日から17日までの期間、翔洋高校の学生が、在宅老人デイサービスセンターで企業実習を行いました。

お茶の提供や、レクリエーションのお手伝い、入浴介助や配膳などを体験しました。

普段の生活の中ではなかなか訪れることのないデイサービスですが、実習生が一生懸

命取り組み、接してくれることで、利用者にとっても喜ばれる良い機会となりました。

